

## 協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。  
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。  
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	淡江大学	氏名	
国名	中華民国(台湾)	学籍番号	
留学期間	2022年 2月 ~ 2023年 1月	記入年月日	2023年 2月 18日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野:		マスコミュニケーション	
科目名	英作文	科目名	飲食文化專題
授業内容	文学部マスコミ学科の1年生の必修科目の英作文の授業です。授業は全て英語で行います。基本的な英作文の書き方を学びます。試験は中間、期末ともに時間内に400語程度の英作文を書くテストがありました。	授業内容	飲食をモチーフとする文学作品を読み、内容や時代背景などを深掘りしていく講義です。成績は、中間と期末のレポートで決まります。
授業形式	講義、グループワークが半々程度	授業形式	講義
単位数	2	単位数	2
サイズ	30人程度	サイズ	20人弱
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	ほとんどありません	宿題の量	ありません
コメント	シラバスには、全て英語の授業と書いてありましたが、生徒が英語で理解できない場合は中国語で説明されていました。前期のオンライン留学の際に受講しましたが、オンラインで受けていたのは私を含めた留学生2人のみで、グループワークは少し難しいと感じました。内容は津田塾大学のcompositionの授業とほぼ同じなので、特に問題なく受けられるのかなと思います。	コメント	文学部の選択科目です。こちらも前期に受講しました。小説を中国語で読むのはまた違う難しさがあり、とても大変でした。レポートについても、中間で3000語、期末が5000語で全て中国語で書かなければならないのでとてもたいへんです。しかし、先生がとても良くして下さい、留学生の2人のみ題材を平易に変えてくださいました。講義の聞き取りについても、半分聞き取れたら良い方という感想です。
科目名	華語課程 書法	科目名	日本語會話4
授業内容	留学生向けの書道の授業です。楷書、行書、草書、隸書の4種類を学びます。成績は、2回に1度、課題として作品を提出して、中間・期末は10字程度の長めの文章の作品を提出します。	授業内容	日本語学科の4年生の必修授業です。日本の文化に関する教科書に沿って、教科書の要約したり、ディベートをしたりします。私は、聴講生として受講したので、試験は受けていません。
授業形式	実践(講義も少しあり)	授業形式	グループワーク、講義
単位数	1	単位数	2
サイズ	30人程度(人数制限がないので年度によりまちまち)	サイズ	15人程度
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	普通
宿題の量	ありません	宿題の量	ありません
コメント	道具は初回の授業で先生から指示があるので、大学近くの文房具店で購入します。500円から1000円ほどかかると思います。中国文学科の書道の授業が別に存在して、そちらは先生の話すスピードが全く違います。この授業は英語と中国語が半々くらいで聞き取りは問題ないかと思います。日本人は書道に慣れているので、基本的には先生はノータッチです。	コメント	この授業のみ、私は聴講生として受講しました。毎回、教科書の内容についてペアで会話をしますが、全て日本語でお話します。題材は、かなり最近のものが多いです。期末試験のインタビューを数名から受けました。

科目名	博物館導覧	科目名	Chinese language and culture
授業内容	博物館の歴史や収蔵品について学びます。校外学習として、故宮博物院や紅樹林保護区、学内の海事博物館などに行きました。故宮博物院と、紅樹林保護区については報告レポートがあり、別に持ち込み可の試験があります。	授業内容	台湾の言語や文化について学びます。留学生向けの全て英語の授業です。授業内でほぼ毎週グループ発表があり、それにプラスして中間・期末ではGoogleフォームを使った試験があります。
授業形式	講義	授業形式	講義、グループワーク
単位数	2	単位数	2
サイズ	20人弱	サイズ	20人から30人程度
難易度 Course No.	やや難	難易度 Course No.	やや難
宿題の量	2回の報告レポートのみ	宿題の量	ほぼ毎週何らかの宿題があります
コメント	難易度を付けるのが難しいのですが、講義は全て中国語なのでやや難にしました。故宮博物院や紅樹林の保護区については先生の解説を聞きながら見て回ることが出来るので、私はとても楽しかったです。中国大陸や台湾の歴史を全く知らないと聞き取りはかなり難しいと思います。	コメント	課題について少し補足します。街で見つけた風水に関するものや、街で見つけた中華風の建築、などについてグループで発表します。一応、英語がメインですが中国語でスライドや発表をしても大丈夫です。日記を英語または中国語で書く課題もありました。課題がとても多いのがこの授業の特徴だと思います。
科目名	新聞選讀	科目名	日本社會文化
授業内容	日本語学科の選択授業です。NHKのニュース番組を沢山見て、より日本語の語彙を増やすことが目的です。中間・期末の2回の試験のみで成績が決まります。	授業内容	日本語学科の選択科目です。日本の政治、経済、習俗を学びます。授業の中では、NHKのニュース番組やドラマ『華麗なる一族』を見ることもあります。中間・期末の試験で成績が決まります。
授業形式	講義	授業形式	講義
単位数	2	単位数	2
サイズ	60人程度	サイズ	100人以上
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	普通
宿題の量	ありません	宿題の量	ありません
コメント	日本語でNHKのニュースを見るのですが、1ヶ月以内くらいのニュースを見るので日本の最新情報が分かりません。難易度については、単位取得が目的なら難しくは無いですが、A評価を求めるならばそれなりに難しいです。試験が難しく、履修放棄する人も多い授業だと台湾人の友人から聞きました。	コメント	授業内で、先生は中国語で話しますが、スライドは中国語と日本語が半々くらいです。また、NHKのニュース、ドラマは字幕なしで日本語なのであまり聞き取りは難しくありません。試験は、日本語で回答しても大丈夫でした。日本の近代史も試験範囲になり、特に戦後史の内容が詳しく試験に出るので、少し復習が必要です。
科目名	新聞學	科目名	傳播心理學
授業内容	マスコミ学科1年生の選択必修授業です。新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどのマスメディアについて学びます。成績は、中間・期末のプレゼンで決まり試験はありません。	授業内容	心理学の基礎を学ぶ授業です。全て英語で行うと書いてありました。成績は、iclass上に書き込むリアクションペーパーと、中間と期末のレポートです。
授業形式	講義、グループワーク	授業形式	講義
単位数	2	単位数	2
サイズ	50人弱	サイズ	40人弱
難易度 Course No.	超難	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	ほぼありません	宿題の量	ほぼありません
コメント	私はマスコミ学科でしたが、交換留学生は私のみでした。講義の聞き取りも難しいですが、5人程度のグループでプレゼンがあるのでこれが大変でした。先生は、受講にとっても好意的な反応でしたが、受講にはかなり勇気がいると思います。私は中国語の授業が進級1と中級2を取っていましたが、それだとかなり厳しいです。	コメント	この授業はシラバス上は英語での講義でしたが、実際は9割以上中国語でした。留学生が私を含めて3人いましたが、レポートや発言を英語でも大丈夫です。ただ聞き取りは専門用語も多く、かなり難しいと感じました。大学で心理学に関する授業を履修していれば予備知識で少しは聞き取りが簡単になるかと思っています。

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>新聞学の授業では、グループでのプレゼンがありました。まず、グループの組み方も自由だったのでグループ決めから苦戦しました。交換留学生は私一人だったので友達もおらず、正確に授業を聞き取れているとは言えなかったのも困りました。しかし、3人の女の子グループが仲間に入れてくれたのでとてもありがたかったです。プレゼンの内容については、先生と相談しながら日本のメディアについて丁寧に説明することに決めました。また、もし語学に自信がなければ寮に日本語が出来る友人もいたので助けてもらう機会も多かったです。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>淡江大学の奨学金生に選ばれたので、週に2時間のチャットリーダーに行っていました。これは、奨学金の交換条件で、国際センターが行っているチャットコーナーの日本語リーダーを務めることが決まっています。日本語は全部で5人ほどいたと思います。テーマが自由で、毎週2時間話すのは話題の提供がかなり大変でした。来てくれる人は、皆さん日本語がとても上手で日本人と変わらないようにお話しできる人がおおいです。私は、習い事で茶道をやっているのもみんなでお抹茶を点てる体験をしました。日本人は複数名いるので、他のリーダーとの差別化が大変だと思いました。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>松濤館という女子寮に住んでいました。場所はキャンパスの中で食堂が併設されています。</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>まず、女子寮にはエレベーターがありません。交換留学生は5階に住んでいましたが、荷物等は全て階段で運びます。シャワーとトイレは共同で使います。お部屋の中には机と椅子とラックが備え付けで置いてあります。調理器具は、各階に電子レンジ、オーブントースター、台湾の蒸し器電鍋と冷蔵庫があります。また、前述の通り食堂が地下にあります。</p> <p>部屋について</p> <p style="text-align: center;">4 人部屋      広さ      12 畳くらい</p> <p>ルームメイトについて</p> <p>私のルームメイトは日本人1人と台湾人2人でした。台湾人は2人とも1年生で、日本人は3年生の交換留学生です。台湾人の2人は中国文学学科で、日本語が全くできなかったため、普通の会話やメール等は中国語でした。私のお部屋はとても仲が良く、ルームメイトの誕生日パーティーもしました。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>寝具については、留学生ボランティアサークルのVOIS経由で注文して、入寮する日に持ってきてもらいました。お店で買うより割高ですが、簡単に入手できました。その他生活用品は、大学近くのスーパーや、淡水駅近くの日本の100円ショップで購入しました。私は、入国後1週間ホテルで隔離していたのでシャンプーなどは事前に3ヶ月分くらいを持っていきましたが、台湾のドラッグストアで普通に購入できます。</p> <p>生活の感想</p> <p>私は普段実家暮らしなので、女子寮での生活はとても新鮮でした。ルームメイトは私よりもみんな年下でしたが、特に年齢を気にすることなく仲良くできました。1番気になったのはシャワー、トイレなどの水周りは日本と比べてあまり清潔とは言えないかなということくらいです。私は、元々台湾に住んでいたこともあって大変だなと思うことはほぼありませんでした。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>隔離ホテルでの食事があまり合わなかったのが1番大変でしたが、寮に入ってからからは、特に困ることはありませんでした。大学のまわりに、飲食店が沢山あるので自炊ができない環境でも大丈夫です。食事は日本よりもかなり安く食べられますが、パスタや日本のカレーライスなど外国の料理は日本と比べてそこまで安くは無いです。炒飯、水餃子、麺類であればかなり安く食べられます。</p>

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険 東京海上日動 海外保険	
	留学先大学にあった医療保険制度 自分で海外旅行保険に入っていれば加入する必要はありませんでした。	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください) ありません。	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	11,000 円
	帰国旅費	16,745 円
	引越し(往復で)	0 円
	保険	29,971 円
	語学研修費	0 円
	留学先学費	0 円
	本学学費	44,444 円
	教材費	1,500 円
住居費	2,639 円 うち2000元はデポジット	
食費	36,200 円	
その他( 隔離ホテル )	16,000 円	
( 旅行費 )	15,000 円	
( )	円	
合計	173,499 円	
換算率 ( 1元 = 4.5円 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください 淡江大学の給付奨学金 11000元		
8	留学前の準備について教えてください	
	<p>日本から持参すべきもの</p> <p>台湾には多くの日本企業が進出していて、大体的ものは手に入ります。ただ、およそ日本の2倍くらい値段が高くなるので沢山使うものは日本から持って行くことをおすすめします。私は、寮に入ってからダイソーでプラスチックの棚やほうきとちりとりを購入しました。少し足を伸ばせばニトリもあるのでお金を払えば手に入ります。一方で、日本の市販薬は手に入りづらいですし、自分の体にあったものが良いので風邪薬や胃薬、鎮痛薬くらいは持って行くことをおすすめします。</p>	
<p>留学前にしておけばよかったこと</p> <p>勉強とはあまり関係無いかもしれませんが、台湾の人たちは日本のことが大好きです。日本のアニメや漫画などを沢山見ていて、とても詳しい人が多いです。日本のアニメについて話していると、私よりも詳しい人が多く、話題についていけないことが多いです。無理に話を合わせることは必要ないですが、日本のアニメや漫画などについて少し知識をつけておくと、話が弾みやすいのではないかと思います。私は、普段あまり漫画を読んだりアニメを観たりしないので、話題に全くついていけず困りました。また、淡江大学には日本語学科があり、日本語を学んでいる人が多いです。そのため日本語の宿題を質問されることがよくありますが、口語文法をいきなり質問されてかなり戸惑ったので、もし中学校や高校のテキストがまだ残っていたら少し復習しておくといいかもしれません。</p>		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>適応しにくかったこととして、学習面と生活面と1つずつ挙げようと思います。まず、学習面では試験は必ずボールペンで書かなければならないことです。台湾では、シャープペンはメモ程度のことでのみ使うので正式な中間試験や期末試験では黒または青のボールペンを使います。そのため修正する道具が日本と比べて沢山使うので準備が必要です。私は、後期の中間試験で初めてボールペンを使わないといけなと言われて、準備がなく戸惑いました。また、書き間違えたら躊躇なく修正テープなどで書き直して良いのも少し慣れないなと思いました。次に、生活面についてです。私は元々台湾に住んでいた経験があるのでそこまで合わないと感じることはありませんでした。しかし、やはりお風呂でバスタブが使えないのは少し寂しかったです。シャワー室はあるのですが、日本人としては毎日湯船に浸からないと疲れが取れた気がせずもやもやしました。MRTの淡水駅から15分くらいの北投という駅は台湾で有名な温泉街で、日本式の温泉があります。台湾の温泉は基本的に水着を着用して混浴ですが、この北投温泉には日本式の日帰り温泉があるので、湯船が恋しくなってしまうほどです。値段も手頃なのでおすすめです。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>まず、学習面では中国語の能力が向上したと思っています。渡航したばかりの9月は、初めてあったルームメイトとほとんど会話することが出来ず翻訳アプリに頼ってばかりでした。しかし、楽器が終わることは、日常会話にはほとんど困らないほど中国語を使ってお話出来るようになりました。なにか目に見える成果が欲しいと考え、帰国してすぐにHSKの5級を受験しました。結果はまだ出ていないのですが、自分ではかなり手応えがあったと思っています。また、精神面としてはまず1人で生活することができるんだという自信ができました。私は東京では実家暮らしだったので、普段家事はやはり母に任せっきりなところが多いです。台湾に留学したことで、自炊はしないにしても、洗濯やある程度の掃除などはできるようになりました。この点では、生活能力が上がったのではないかと思います。また、積極性が増えたと考えています。私は、留学生が自分1人でしかない授業を取りました。授業を聞き取るのももちろん大変でしたが、それよりもグループワークでプレゼンをする時に、内容を話し合ったり役割分担をすることの方が大変でした。その中で、自分からコミュニケーションを取るよう努力したことは自分にとって大きな成長だと思います。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>まず、前述の通り中国語の検定試験を取得したいと考えています。具体的にはHSKの5級です。今回の受験で合格していれば、6級の取得にもチャレンジしていきたいと考えています。スピーキングやリスニングについては聴講生として参加していた日本語会話のクラスメイト達が一緒にお話しようと声をかけてくれているので時々オンラインでお話して、せっかく学んだ中国語を忘れないようにしたいと考えています。また、卒業論文についてです。私は3年ゼミで『台湾が国家として認められるためには』という題で、歴史的観点から論文を書きました。卒業論文についても台湾に関することで書きたいと考えています。そして、今後の進路については一般企業への就職も考えています。台湾とやり取りのある企業で学んだ中国語を活かせるような職に就きたいです。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留学したいな、と考えているならば行く先の国に対しての知識ももちろんですが、日本についての理解も大切だと思います。特に私が行った淡江大学は日本留学生がとても多く、日本語学科の学生も多いです。それだけ日本について詳しい人が多いので、日本について聞かれることも、より詳細を問う質問が多いように感じました。ざっくりとした日本の歴史や伝統文化について知っておくことは必要だと思います。私は、台湾で初めて自分1人で浴衣を着付けました。このような感じで、手軽に紹介できるものを持っていくのは良いのではないかと思います。台湾の人々は、とても親切で良い人が多いです。あまり心配しすぎずに、留学に行ってみたいという気持ちがあるのならチャレンジすべきだと思います。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください。</p> <p>私が実際に台湾に行って、日本人の中にもかつて台湾と日本がどのような関係にあったのかを知らない人が意外に多いと思いました。台湾の歴史に関する授業や日本の歴史に関する授業は多くありますし、台湾の文化を学ぶ授業も多く開講されているので、渡航する前には是非少し調べてから行くことをおすすめします。その方が、授業の理解もより深まるし、台湾人の友人と話をしながら新しい意見を聞くこともできると思います。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(  )  許可します

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。

ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。

ありがとうございました

写真を数枚添付していただけると幸いです。(キャプションをつけてください。)



↑日本語チャットコーナーで茶道体験をしました



↑寮の日本人の友人と1泊2日で高雄に旅行に行きました



↑寮の友人たちと一緒に日本人と台湾人と混ざって台中に行きました